

タンザニアの給食

Hamjambo?

タンザニアには給食のようなものがあります。2、4、6年生が対象で、学校で作ったご飯を食べるのですが、お金を払った子しか食べることができません。でも、食べられない子があると、周りの子に「ちょうだい」と言ってもらったり、給食がある子が「一緒に食べよう」と言って分けてあげたりしている姿をよく見ます。ちなみに、1年生は12時には下校なので、お家に帰ってご飯を食べます。3、5年生も学校の給食を食べられますが、14時から15時まで休み時間があり、その時間に家に帰ってお家でご飯を食べる子もいます。

給食のメニューは2つです。5日間のうち4日間は「ごはんとマハラゲ（豆をココナッツで似たもの）」です。そして1日だけ「ピラウとカチュンバリ（トマトとキャベツとにんじんのサラダ）」の日があります。ピラウの日は、作っているときからいい匂いが教室に漂ってきます。ピラウは大人気なのでみんな楽しみにしています。

日本で給食を食べていた時は、毎日メニューが違うのがあたりまえでしたが、それがどんなに恵まれていることなのかを実感しています。給食を作ってくれる方々や、栄養のバランスを考えてくれる栄養士さんに、感謝の気持ちを忘れずにいたいですね。

みなさんの好きな給食は何ですか？Tutaonana tena！



ワリ（ごはん）とマハラゲ



ピラウとカチュンバリ



給食を食べるときは、それぞれが好きな場所で食べています。スプーンで食べる子もありますが、ほとんどの子が手でご飯をとって丸めて食べます。その様子を見てみると、みんな「カリブ〜トゥレ〜（一緒に食べよう）」と言ってくれます。



給食を作っている場所は、外にあります。

大きな鍋で、ごはんを炊いています。タンザニアのご飯は、油とココナッツミルクと塩を入れてつくります。